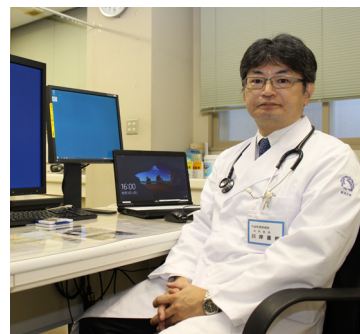


新年明けましておめでとうございます



国保病院院長
川岸 直樹

「昨年4月から院長を拝命し、地域包括病床、総合診療科外来稼働など、当地域に見合ったより良い診療体制を目指して病院改革を行ってきました。常勤医も4人となり、幅広く診療できる体制になりました。」
2019年9月に厚生労働省が「再編や統合の検討を求める全国の公立・公的病院」を公表し、当院もその中に入っております。2020年に入ってから新型コロナウイルスで影が薄れた感がありますが、先日厚生労働省から病床使用率などの調査がちゃんと来てありました。省内では「コロナ対策と病院再編の部署は違うようです。国税を投入す

るのであれば、効率よく医療をする仕組みを作ろうとするのは、霞ヶ関として当然だと思います。2021年10月に財務省事務次官が商業誌に投稿していました。このままでは本邦は財政赤字で疲弊し、成長分野への投資がままならなくなり、国際競争力がどんどん落ちてしまうというのです。当院のような遠隔地赤字病院の院長、首長たちは「再編・統合」に否に反対していましたが、離島、道北、道東と当院としては状況が違います。当院は、本州よりは医療環境が厳しい地域にあります。12km先に同じ形態の公立病院が存在します。しかも、同地域には私立病院があり、立派に経営が成り立っています。2年前院長を拝命するまでは、病院経営のことなど他人事でしたが、身につきまされると勉強もします。大学から仙台周辺の病院へ診療応援に行っていた頃に、教室OBの院長から病院

経営の愚痴をよく聞かされていたのですが、今になってその話が頭の中で繋がります。2年前に思ったのは、外来は私立診療所が2箇所あるので伸びしろはあまりないと思つたのですが、人口5000人の町で33床が埋まらないのは不思議でした。地域包括病床を導入し入院可能期間を長くした際に、患者家族から「以前は短期間で転院と言われた」などの声を頂き、地域住民は短期しか入院できない認識であると理解しました。病院スタッフも同様の認識だったので、仙台周辺で実際にあった閉院した公立病院、統合された公立病院の状況をスライドで説明し、病床が埋まらないと「当院は統合または診療所化される」と教育しました。当初は、真剣に画面を見る者の他に講義中にスマホや腕時計をしきりに見る者もいて時間がかかるなと思つたのですが、最近では早期に転院の話をする者

はいなくなり、実際に療養目的で転院する症例は年に1人いるかどうかです。当院の病床利用率は最近では8割以上です。新型コロナウイルスも設置しました。地域包括ケアシステムの要である「在宅医療」も拡大中です。このままいけば、霞ヶ関による「再編・統合」の「肩たたき」は回避できるかもしれません。
最近「ルワンダ中央銀行総裁日記」を読みました。疾患の勉強ではなく、パフォーマンスを眺める時間が長くなりましたが、これも自分が置かれた状況での使命と思っております。
「電子カルテ導入」、「地域講演会再開」など、述べたいことはまだまだたくさんありますが、都合上次の機会にいたします。これまで通り、皆様の御理解と御支援を心から御願ひ申し上げます。末尾になりましたが、今年が皆様にとって良い年であるよう祈念しております。

～介護用の布類を必要としています～

病院では、各種団体や町民の皆様からたくさんの介護用の布類を提供していただき、大変有益に使用させていただいております。

介護の際の汚物等を処理するための使い捨てとなる布類（タオル・下着シャツ等、古くても結構です。）を引き続き必要としています。

ご家庭で必要とされていない布類がございましたら皆様のご協力をお願いします。

◇布類の素材について

タオル・バスタオル類、布団カバー、トレーナー、シャツ、Tシャツ、敷布、カーテンなど綿素材のもの。シルクまたは絹混織製品が素材として適しています。

《ご協力ありがとうございました》

・立正佼成会 法輪クラブ様

【問合せ】 今金町国保病院 看護科 ☎82-0221

今月の特集
行政情報
各種情報
まちの話題
情報かわら版
まちの行事予定
学びの道標へ

秋の叙勲「瑞宝単光章」が村上隆文氏に伝達



令和3年秋の叙勲が発表され、元 檜山広域行政組合今金町消防団 第2分団長であった村上隆文氏（68歳・稲穂）が消防団員として、長年の功績が認められ「瑞宝単光章」を受章され、12月2日今金消防署において外崎町長より伝達を受けました。

村上氏は昭和50年5月に今金町消防団に入団し、43年の永きに亘り、農業を営みながら消防団員として多くの災害から住民の生命・財産を守るため、常に第1線に立ち任務を遂行されました。

また、平成28年からは分団長として火災及び各種災害に対し、団員を統率しながら、災害の防止や被害の軽減に努め、消防団員の育成指導及び組織強化に力を注ぎ、地域防災の発展に大きく貢献された功績が称えられました。

令和3年度北海道社会貢献賞（自治功労者）が中島光弘氏に伝達

12月8日、京王プラザホテル札幌において、今金町副町長の中島光弘氏に令和3年度北海道社会貢献賞が鈴木直道北海道知事より伝達されました。

中島氏は、昭和59年6月に今金町役場へ奉職し平成15年6月までの19年間にわたり在職。平成15年7月からは今金町教育長に就任され、平成27年6月までの12年間にわたり教育行政の推進に努められ、平成27年7月より今金町副町長に就任、現在まで37年もの永きにわたり地域振興と町行政の推進に努め、地方自治の発展に大きく貢献されました。



◇◆◇ 年始の休み状況 ◇◆◇

	役 場	としべつ 老人保健施設	国保病院	町民センター	総合体育館	種川温泉 休憩所	あったか らんど
1月1日(土)	閉 庁	閉 庁	休 診	休 館	休 館	休 業	10:00 ~ 14:00
1月2日(日)	閉 庁	閉 庁	休日当番	休 館	休 館	9:00 ~ 21:00	9:00 ~ 22:00
1月3日(月)	閉 庁	閉 庁	休 診	休 館	休 館	10:00 ~ 21:00	10:00 ~ 22:00
1月4日(火)	閉 庁	閉 庁	休 診	休 館	休 館	10:00 ~ 21:00	10:00 ~ 22:00
1月5日(水)	閉 庁	閉 庁	休 診	休 館	休 館	10:00 ~ 21:00	13:00 ~ 22:00
1月6日(木)	通 常	通 常	通常診療	通 常	休 館	休 業	10:00 ~ 22:00

※国保病院 休日当番は10:00 ~ 12:00

今月の特集

行政情報

各種情報

まちの話題

情報かわら版

まちな行事予定

学びの道標へ